



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

令和2年4月17日 No.2

入学おめでとうございます

入学式の式典が新型コロナウイルス感染防止の徹底のために中止となりました。新入生は緊張の面持ちで各学級に入り、担任の先生から入学に当たっての様々な指導を受けました。臨時休業が続く中で、不安なこともあると思いますが、元気に府中第五中学校の生徒としてのスタートを切りました。入学式で新入生に行う予定であった校長式辞については、放送で伝えました。その一部をご紹介します。

<校長式辞:抜粋>

本来なら、入学式を挙げて、皆さんの入学をお祝したかったのですが、新型コロナウイルス感染防止の徹底のため、急遽、式典を行うことができなくなりました。皆さんにとっては、本当に残念なことだと思います。校長として、本当に申し訳なく思っています。

このような放送という形ですが、本日、入学式が行われたら、校長式辞として、皆さんにお話ししたかったことがありました。それを今から伝えたいと思います。

春の訪れを迎え、まぶしい陽の光が心弾ませる季節となった本日、府中市立府中第五中学校の門をくぐって、ここに集まった新入生の皆さん。ご入学、おめでとうございます。本年度は、130名の新入生を迎えることができました。新入生の皆さんの入学を、府中第五中学校の教職員、2・3年生の上級生、みんなが心から楽しみに待っていました。

さて、新入生の皆さん、各教室の正面に掲げてある言葉を見てください。そこには「自己発見」という言葉が書かれています。この言葉は本校の校訓です。「自己発見」とは、府中第五中学校で学ぶ最も大切なことが、「自分らしさ」を発見することであり、「自分のよさ」を伸ばし、「弱さ」を克服し、つらい体験や苦しい体験を乗り越えて、真の意味で強く、そして優しい人に成長してほしいという願いを表しています。本日、皆さんは、この校訓のもと自分を発見する旅のスタートラインに立ったということになります。

そこで、入学のお祝いに私から皆さんに期待することをお話しします。

第一は、「あいさつと感謝の気持ちを言葉に表すことができる人になってほしい」ということです。「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつとともに、他の人が自分のために何かをしてくれたら、心の底から「ありがとう」と感謝の言葉を述べられる人になってください。きっと周りのみんなが優しい気持ちになり、仲良く、助け合う関係が作り出せると思います。そして、互いの良さを認め合い、よりよい成長を導き出し、心豊かで、充実した学校生活を送ることができようと思います。「おはよう」とか「ありがとう」など、普段使っている言葉ですから、決して難しいことではないと思います。ぜひ三年間、忘れずに取り組んでください。皆さんの行動に期待したいと思います。

第二は、「チャレンジする気持ちと成長しようという意欲」を前面に出し、努力し続ける人になってほしいということです。

これから始まる、毎日の授業、学校行事、委員会活動、そして部活動、学校生活の様々な場面では、思い通りにならないことも起こります。むしろ、思い通りにいかないことの方が多いと思います。そういう時に、途中でくじけそうになる自分を奮い立たせ、諦めない強い心を持ってほしいと思います。

困難に出会った時、そこから逃れたり、かわしたりするのではなく、その困難を克服するために、自分を奮い立たせる気概をもってほしいと思います。例えば、目の前に二つの道があったなら、あえて困難と思える方を選択するぐらいの気持ちも持つことが成長をもたらす糧となることだと思います。努力は人を裏切りません。取り組んだことは必ず良い結果となって自分に返ってきます。このことを信じて三年間、頑張してほしいと思います。

